

◆大会企画委員会

大会企画委員会 委員長 和田 光平

日本人口学会第68回大会が麗澤大学(千葉県柏市)において2016年 6月11日(土)、12日(日)にわたり開催されます。大会プログラム日程は下記のとおり(暫定)です。

今大会から情報提供は完全にWEBへ移行しております。大会プログラムや各発表の報告要旨などはすべて学会のホームページから入手できます。海外からの英語セッションも数多く設定されています。また、麗澤大学廣池千九郎生誕150年記念事業として一般にも公開するシンポジウムも麗澤大学と共催します。

また、非会員の参加も歓迎しておりますので、人口に関心のある研究者や学生の皆さんにもお声掛けいただき、お誘いあわせのうえご参加ください。

第1日 2016年6月11日(土)

8:00~	受付開始					
午前の部						
9:00~12:30	企画セッション①		テーマセッション①		自由論題	
	9:00 12:00	地域特性や個別環境による出生率格差を考える	9:00 12:30	持続可能な開発目標 (SDGs)と人口開発問題のゆくえ	9:00 10:30	A-1 結婚1
					10:30 12:30	A-2 結婚2
						B-1 人口移動1
						C-1 少子化対策と人口政策
						B-2 人口移動2
						C-2 Vital Events and Dynamics of Population in Asia
12:30~13:20	理事会					
13:30~14:50	来賓挨拶 (韓国人口学会会長) / 会員総会 / 学会賞授賞式					
午後の部						
シンポジウム						
15:00~18:40	日本人口学会・麗澤大学共催 廣池千九郎生誕150年記念事業 『人口政策の成り立ちを考える ~ Linking Past to Present ~』					
19:00~21:00	懇親会					

第2日 2016年6月12日(日)

9:00~	受付開始					
午前の部						
9:30~12:30	企画セッション②		企画セッション③		自由論題	
	9:30 12:30	Panel session 2 Marriage and Family Building in Historical East Asia	9:30 12:30	未婚者の現在と将来	9:30 11:00	D-1 地域社会
					11:00 12:30	D-2 高齢化
						E-1 死亡
						E-2 生命表
12:30~14:00	昼休み					
午後の部						
14:00~17:30	企画セッション④		テーマセッション②		自由論題	
	14:00 17:00	セクシュアル・マイリティに関する人口学的研究 —日本における研究動向の今—	14:00 17:00	Marriage and Family Building in Contemporary East Asia	14:00 16:00	F-1 妊娠と出生
					16:00 17:30	F-2 地域と出生
						G-1 人口統計
						G-2 経済と人口

日本人口学会 会報 第71号 2016年5月発行 編集発行責任: 日本人口学会2014~2015 年度総務委員会

日本人口学会事務局連絡先:

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F一般社団法人学会支援機構内

TEL: 03-5981-6011 FAX: 03-5981-6012

E-mail: paj@asas-mail.jp

http://www.soc.nii.ac.jp/paj/index.html

◆学会賞選考委員会

学会賞選考委員会 委員長 高橋重郷

本委員会では、2016年大会にて授与される第15回学会賞（日本人口学会賞、優秀論文賞、普及奨励賞、学会特別賞の各賞）受賞者の選考を行い、その結果を4月24日に開催された理事会に推薦理由とともに報告し、それを受け行われた理事会での審議を経て以下の通り決定した。

なお、各賞の選考に先立ち、全会員から、1)学会賞候補（2013年1月～2014年12月刊行の著書）、2)優秀論文賞候補（同上期間刊行の論文）、3)普及奨励賞候補（同上期間刊行の翻訳書・研究調査報告書・一般啓蒙書）の推薦を募った。

その後、学会賞選考委員会を複数回開催し、3月23日に最後の委員会を開催し、各賞への推薦者を決定した。

理事会に推薦された各賞候補は、次の通り。1)学会賞：澤田佳世（2014）『戦後沖縄の生殖をめぐるポリテクス—米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』大月書店。2)優秀論文賞：(1)永瀬伸子（2014）「育児短時間の義務化が第1子出産と就業継続、出産意欲に与える影響：法改正を自然実験とした実証分析」『人口学研究』第50号（第37巻第1号）、pp.29-53。および(2)是川夕（2013）「日本における外国人女性の出生力—国勢調査個票データによる分析—」『人口問題研究』第69巻 第4号、pp.86-102。3)普及奨励賞：松田茂樹（2013）『少子化論—なぜまだ結婚、出産しやすい国にならないのか』勁草書房。4)学会特別賞：該当なし。

なお、今後6月11日に開催される第68回日本人口学会大会の会員総会において授賞式が行われる予定。

◆編集委員会

編集委員会 委員長 井上 孝

以下では、1)において機関誌『人口学研究』第52号（2016年6月刊行予定）の編集の進捗状況、2)において同誌の電子公開の状況と今後の見直しについて報告いたします。

1)『人口学研究』第52号の編集状況について（2016年4月27日現在）

論文は2編が審査中、研究ノートは2編が採用済み、1編が審査中です。これら以外の原稿については、学会展望／学会消息が4編、書評および新刊短評があわせて16編、地方部会報告が3編、それぞれ受理済みとなっています。

2)『人口学研究』の電子公開について

現在、同誌のコンテンツは、バックナンバーも含めて国立情報学研究所(NII)が運営する電子図書館NII-ELSIに収録され、CiNiiを通じて公開中です。しかし、「学術団体が刊行する専門誌(学会誌・機関誌)の電子化に対する国の支援は科学技術振興機構(JST)のJ-STAGEに一本化する」という文部科学省の方針により、NII-ELSIによる最新号のコンテンツ受付は2016年3月で終了しました。そのため編集委員会では、同誌の電子媒体については、今後J-STAGE上で公開することが最善であると判断し、科学技術振興機構(JST)へのJ-STAGE利用申請と国立情報学研究所電子図書館(NII-ELSI)へのデータ移

行申請を2015年度に行っておりましたが、2016年4月に無事にそれらの申請が認められました。この結果を受けて、今後は、2016年度中にNII-ELSIからの既刊コンテンツ(バックナンバー)データの移行が行われ、2017年度以降にJ-STAGEによる最新号コンテンツ(カレント)の受付が始まる見通しです。

◆研究企画委員会

研究企画委員会 委員長 鈴木 透

研究企画委員会は「日本人口学会史関係資料の整備」「人口教育に関する事業」の両面で研究会活動を行う計画をたてた。人口学会史に関しては、「日本人口学会大会報告リスト(Excel)」を作成し学会ホームページに掲載した。人口教育に関しては、「学協会における大学・大学院教育の分野別質保証の取り組み状況に関する調査」への回答を作成した。

◆総務委員会

総務委員会 委員長 石井 太

4月24日(日)に平成27年度第2回理事会が開催された。

1. 理事会報告・審議事項

2016年3月末現在会員数について(総務委員会)

石井総務委員長より、2016年3月末現在の会員数について、通常会員298人、学生会員31人、名誉会員10人、団体／賛助会員5団体、特別会員4法人との報告がなされた。

2. 次期理事選挙の結果について(選挙管理委員会)

金子隆一選挙管理委員長より2016～2017年度日本人口学会役員選挙の開票結果、理事当選者が以下の通りとなった旨、報告があった(開票日：2016年3月10日、投票総数74票、無効票0票、有効票74票)。

石井 太、井上 孝、岩澤 美帆、加藤 久和、金子 隆一、黒須 里美、小島 宏、鈴木 透、中澤 港、永瀬 伸子、林 玲子、和田 光平(五十音順、敬称略)

3. 決算案・予算案等について(総務委員会)

決算案、予算案について石井総務委員長より提案があった。決算案については、事務局移行の結果、過年度分の会費収入を含め会費の徴収率が上がったことなどにより、今年度の財政は大幅な黒字となっていること、及び、来年度予算案についてはこうした状況を踏まえた上で、これまで通り、慎重な財政運営を心掛けたものとした旨説明があり、理事会からの意見修正を踏まえた上で了承された。

4. 編集状況等について(編集委員会)

井上編集委員長より、編集方法の見直しについての説明、及び機関誌の電子公開についてCiNiiからJ-stageの移行が承認された旨、報告があった。

5. 学会賞について(学会賞選考委員会)

高橋学会賞選考委員長より受賞候補案について説明があり、各理事による投票の結果了承された。

6. 第68回大会について(大会企画委員会・大会運営委員会)

和田大会企画委員長・黒須大会運営委員長より、第68回大会の準備状況について報告があった。

7. 第69回大会について(副会長)

津谷副会長より、第69回大会について報告があった。